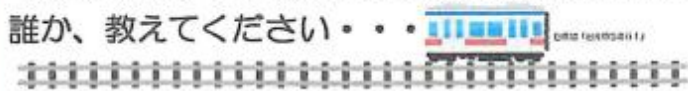


「なないろ」は→虹。
「なんで虹って「虫」という部首が使われてるんだろう？」
誰か、教えてください・・・



川口市立戸塚中学校

46期2学年通信 No.36

令和6年7月2日(火)

道徳通信 イジ芽は発芽させない！

先日、3週間をかけて道徳の授業でいじめについて学びました。

小学生の頃から道徳の授業などを通して「いじめ」について学んできているので、「私たちは大丈夫」「私たちの周りにはいじめなんか無い」と思う人もいるかもしれません。

そこで、次の項目を見てみてください。

- ・友達をあだ名・ニックネーム等で呼ぶ。
- ・プロレスごっこをして遊ぶ。
- ・誰かのモノを盗ったり隠したりして遊ぶ。
- ・「〇〇くんが△△さんの～」といったうわさをする。



上記にあるこれらすべてはいじめ又はいじめにつながる行為です。

自らの生活を振り返ってみて、思い当たる節はありませんか？

タイトルにもある通り、いじめは植物のように芽を出し、どんどん成長していきます。

植物が成長していくには水・日光・養分が必要だと1年生で学習しましたね。

いじめも同様です。初めは芽を出す程度の小さなことかもしれませんが、次第に複数人からのからかいや嫌がらせ、うわさが拡散されるといったように成長し大きくなっていきます。

しかし、植物と異なる点も存在します。それは植物のように根っこごと引き抜くことが困難という点です。

いじめられたという事実は消えることはなく、SNS やうわさで広まってしまった情報は完全に削除することは不可能でしょう。これは加害者側も同様です。やってしまったという事実は決して消えません。

つまり「イジ芽」が成長しきってしまったら、完全に対処することは著しく困難となります。

○何気ない行為がいじめにつながる。

○された人だけでなくやってしまった人も苦しむ。

○その記憶は絶対に消えることはない。

いじめをしてはいけません。こんなことは当たり前ですね。

大事なことは、「イジ芽」が出てから対処するのではなく、「イジ芽」が出ない土壌(クラス・学年)にしていくことではないでしょうか。

自分の行動に対して「あれ、今の行動大丈夫かな」と思ったら、この学年通信を思い出してください。

「今の行動・言動は良くなかった」と気づける人が増えるといいですね。

「イジ芽」が出ることのない、あたたかい雰囲気の中で生活していきましょう。